



# 熱戦!! 美ら島 沖縄総体2010

最後の持ち回り開催になる「美ら島沖縄総体2010」は、本市でもアーチェリーと卓球の2競技が8月2日から8月12日の日程で開催され、各競技とも熱戦が繰り広げられ、大会を影で支えたボランティア等により成功裏に終わりました。

ぎのわん 第76号

# 市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号  
電話 (098)893-4411(内337)  
印刷 株式会社東洋企画印刷



卓球競技に出場した普天間高校女子（宜野湾市立体育館）

## 定例会の経過

6月	8日	議会運営委員会
	10日	会期の決定、案件説明
	14日	提出案件に対する質疑、常任委員会への審査付託
	15、16日	常任委員会議案審査
	18、21~24日	一般質問（質問者17名）
	21日	常任委員会議案審査（経民）、議会運営委員会
	22日	常任委員会議案審査（総務）、議会運営委員会
	24日	議会運営委員会
	25日	各常任委員会の審査報告及び表決

## 行政財産無償貸付に

# 附帯決議!

# 6月

# 定例会

会期

6月10日~6月25日

第354回宜野湾市議会定例会は、6月10日から6月25日までの16日間の会期で開かれました。

今定例会では、一般会計補正予算（第2号）や行政財産無償貸付の外、教育委員会委員の任命、職員の仕事と育児の両立を支援するための宜野湾市職員の育児休業等に関する条例及び宜野湾市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例などの21件にわたる議案等が審議されたほか、17名の議員による一般質問も行われました。

# 6月定例会 主な議案の 審議経過

## 行政財産無償貸付について

宜野湾漁港内にある市単独用地に農水産業振興の拠点となる施設として「仮称）海と緑の駅」建設にあたり、土地を沖電開発株式会社に二十年間無償貸付するものです。

審査では、行政財産を無償貸し付けできる法的根拠の質疑に対し、自治法改正に伴い、行政財産の貸付範囲が拡大され、貸付内容等を勘案して無償貸し付けが可能になったこと、また事業運営に当たり、本市の関与についても関係団体四者で覚書を締結する予定であるとの答弁がありました。そのほか事業収益が出た場合の還元方法など多くの質疑、提言がなされ、全会一致で同意されました。なお同意に当たり附帯決議案が提出され、可決されております。（附帯決議は七ページ参照）

## 一般会計補正予算(第二号)

審査では、普天間周辺まちづくり基本計画修正策定について、前回より二倍の予算がかかっていることについて質疑がなされ、修正案は、これから関係者との協議やワークショップの実施で検討され、予算についても交流プログラム策定などを予定しているための積算であるとの説明がありました。そのほか「仮称）海と緑の駅」駐車場整備事業について多くの質疑、提言等がなされ、全会一致をもって可決されました。

## 委員会条例を改正

議案等の審議充実を図る観点から常任委員会の所管範囲を改めるとともに、名称を変更するものです。

改正内容は、市民経済部の所管を経済民生教育から建設に移すとともに名称を「経済民生」を「福祉」に、「建設」を「経済建設」に改め、それぞれ「福祉教育常任委員会」及び「経済建設常任委員会」とするもので、平成二十二年九月二十八日施行いたします。

## 教育委員を選任

教育委員会委員の玉城勝秀氏及び玉寄澄子氏の任期満了に伴い、島崎映子氏、宮城典子氏を後任とする人事案件が提出され、それぞれ全会一致で同意されました。



宮城典子氏



島崎映子氏

## 議員表彰

全国市議長会から第八十六回定期総会において、市政の振興に貢献された功績により、十五年以上功労の知念吉男議員が表彰されました。



表彰を受ける知念議員

## 全員協議会を開催

本市職員による生活保護費返還金着服に係る服務審査について、七月三十日に全員協議会が開かれ、市当局より分限懲戒審査の結果や謝罪等がありました。

議員からは未然に防げなかった原因や、現金取り扱いの問題、再発防止等について意見、提言がなされました。



## 第二五五回臨時会

八月十七日に開かれた臨時会において、介護保険特別会計補正予算(第一号)や大山七号橋梁上部工事請負契約についてなどの三件の議案が審議され、可決されました。

## 退任のあいさつ



副議長  
伊波 勉



議長  
伊波 廣助

市民の皆様には、日頃より市議会活動への御理解、御協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

私も、平成十八年九月から今日まで、『市民が主役の「ねたて」の都市(まち)ぎのわん』を標榜したまちづくりを目指し、行政と議会、そして市民の皆様とともに邁進してまいりました。本市におきましては、西海岸地域への中長期滞在型宿泊施設が開業され、都市型リゾートエリアの拠点形成に結びつく絶好のチャンスを迎えております。

そのような中で、米軍基地普天間飛行場の危険除去及び早期返還を最重要課題とし、その推進にも全力を傾注し、市民の皆様が、未来の宜野湾市へ思いを描けるよう努めてまいりましたが、今日まで米軍基地返還のめどは立たず、混乱の度は深まるばかりであります。しかしながら、今後とも市民生活の安全・安心の観点から、市議会として行動してまいりたいと存じます。

一方では、地方財政は今なお厳しい環境におかれ、困難な状況に直面しております。こうした情勢下においても、市議会本来の機能を十分に発揮し、二十一世紀を乗り越えられるよう、本市の興隆発展を切望してやまない次第であります。

議員在任中は、市民の皆様並びに関係各位、市当局の御協力により重責を果たすことができましたことに對しまして、心から感謝申し上げます。

結びに当たり、本市の一層の繁栄と躍進、市民の皆様のごさらなる御健勝、御多幸を祈念申し上げ、退任の御挨拶といたします。

# 一般質問

今定例会は、17名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

## 答弁者

- 市長 伊波洋一
- 副市長 安里 猛
- 教育長 宮城茂雄
- 水道事業管理者 前川朝広
- 職務代理者 職務代理者
- 総務部長 仲村 隆
- 企画部長 城間盛久
- 基地政策部長 山内繁雄
- 福祉保健部長 玉那覇豊子
- 市民経済部長 新田宗仁
- 建設部長 稲嶺盛政
- 教育部長 宮平良和
- 指導部長 下地邦敏
- 消防長 平安多常明
- 会計管理者 國古秀子

## 下水道整備の状況と計画について

森田 進 議員

◎議員 これまで、中原地域でも大変難しいハンタ道側の下水道整備は、二十一年度からの実施であること、また同時に中原進入路も二十二年度に下水道整備を実施するとの答弁がありました。今日まで進展はないのですか。

◎建設部長 ハンタ道の工事が若干遅れたことについてはおわびします。下流となる上原二丁目、二十一年度には一部完成しましたので、二十三年度にはハンタ道の一部と赤道二丁目付近の実施計画を行い、

二十四年度からの三カ年計画で進めています。また、中原進入路についても具体的に進展はありませんが、今後とも防衛局及び米軍と協議を行い、事業の再開に向けて努力していきたいと思っております。

◎議員 ハンタ道部分については、同地域の生活改善のため、一日も早く実現できるように頑張ってください。中原進入路についても厳しいと認識していますが、事業再開に向けて、取り組んでいただくよう要望いたします。



平成24年度から下水道整備が予定されている中原ハンタ道付近

## 幼児、児童の読書環境の拡充について

岸本 一徳 議員

◎議員 他の自治体ではセカンドブック、サードブックという事業がありますが、本市の取り組みについてお伺いします。

◎教育部長 御指摘の件については、次年度アンケート調査を実施し、分析を踏まえた後で、事業化に向けて検討していきたいと考えています。

◎議員 今、電子メールやITなどが社会に普及するなかで読書離れ、活字離れがあると思えますが、私の心に残る一冊などを、ぜひ市として呼びかけていただける環境をつくっていただきたい。また、本市は子供の読書活動推進計画はないのですか、前回の質問から五年たっていますか、何の計画もないのですか。

◎教育部長 計画自体については、図書館長と協議をしておりまして、その策定に向けて調査研究を踏まえながら、次年度をめどに取り組んでいきたいと思っております。

◎議員 ぜひ読書計画、子供のためにお願いしたいと思います。

## 児童虐待の状況と防止対策について

仲村 春松 議員

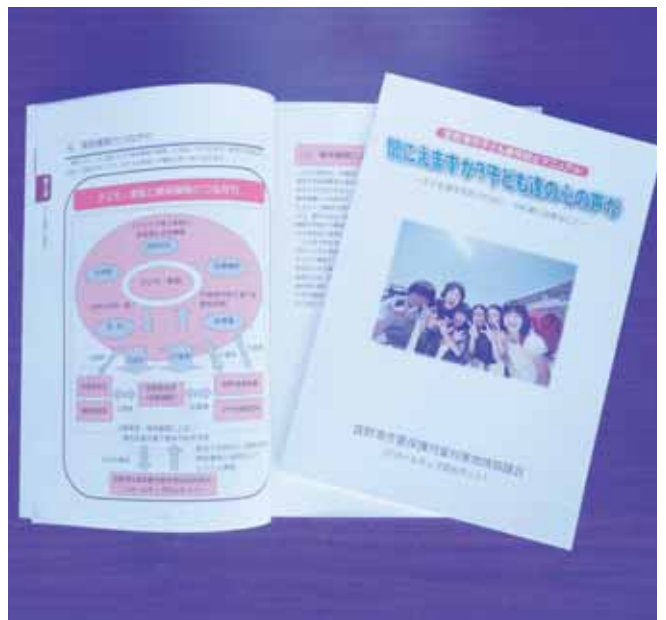
◎議員 現代社会は核家族化が進み、親のストレスが虐待へ走る可能性が高くなったと思えます。虐待の未然防止を図るために、どのような対策を行っていますか。

◎福祉保健部長 若年層の子育てについては、生後四カ月までの乳児のいる家庭を全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」を実施し、虐待が心配されるハイリスクの世帯については児童支援員が家庭に出向き、家事や育児訪問指導を行う体制をとっています。

◎議員 保育現場の状況と実際に指導、保護されたことがありませんか。

◎福祉保健部長 保育所では、不自然な骨折やけがが身体にないか保育士が観察しています。昨年度は二件の報告があり、速やかに職員と児童相談所とも話し合っており、その対策に努めている状況でございます。

◎議員 小さな赤ちゃんがいつまでも笑顔で、すくすくと育つよう、最善の努力をしていただきたいと思います。



市作成の子ども虐待防止マニュアル「聞こえますか？子ども達の心の声が」



整備が進み、公売される保留地（墓地の保留地処分）

宇地泊第二土地区画整理事業について

島袋 亀次 議員

◎議員 平成二十二年度の事業ベースとして進捗率八六・八%となっていますが、他の進捗率と、二十一年度から六千五百六十三万八千四百円の繰り越しについて進展はどうなっているのか。

◎建設部長 現在、物件補償が九五%、墳墓はほぼ百%。あと保留地処分面積が四五・七%です。また繰り越し分については、七月末には完了する予定です。

◎議員 あと一点、ガソリンスタンドの地下タンクについては、解決に向けてどのような取り組みをしているのか。

◎建設部長 担当を本土に派遣して交渉をしている状況ですが、相手先の交渉窓口担当の人事異動などで、進展が滞っています。引き続き円満な解決に向けて頑張っていきたいと思います。

◎議員 難題などいろいろ予測されますが、交渉成立なくしては、この事業も成功には導いていかないので、粘り強く、早めに解決していただくよう要望いたします。

バイオマス利活用の推進について

座間味 好子 議員

◎議員 施政方針では、循環型社会へ転換し持続可能な社会形成に向け取り組むべきとあるが、バイオマス利活用を検討したことはありますか。

◎市民経済部長 現時点では、具体的な取り組みには至っていませんが、地域に即した取り組み、他自治体、先進事例、北海道から端を発した段ボール箱等のごみ処理とあわせて、今後、検討していきたい。

◎議員 JAと提携し、自宅で簡単にできる生ごみ処理機を利用した資源循環型社会を目指し、各自治会や本市でできるバイオマスの利活用ネットを拡充し、普及につなげてほしいが、見解を伺いたい。

◎市民経済部長 処理機にかわる新たなものとして、企業が市内の給食センターから出る廃食油を回収し、自動車の燃料として販売している。今後は、バイオマスの利活用については検討してまいりたい。

◎議員 市内の全家庭で普及すれば、大幅なコスト削減にもつながると思うのでぜひ検討していただきたい。

介護保険事業の取り組みについて

大城 政利 議員

◎議員 本市の介護施設待機者の実態について御説明をいただきたい。

◎福祉保健部長 市内二カ所の特別養護老人ホームの入所者数は計百七十六人で、待機者は千四十七人です。

◎議員 病院や施設ではなく住みなれた家で介護を希望する方も多いため、本市での老老介護の実態について伺いたい。

◎福祉保健部長 現在、各家庭における老老介護の実態については把握できていませんが、今年度中に行う高齢者の

実態及び意向調査で、介護保険に関するアンケートの中に老老介護の項目も加え、実態の研究に努めていきたい。

◎議員 では、家族介護者の休暇等を保証するレスパイトケア事業の拡充は今後重要な課題であるが、何らかの取り組みはしているか。

◎福祉保健部長 まだ実施されておきませんが、他市の状況も参考にし、支援方法について考えてまいります。

◎議員 ぜひ前向きに検討し取り組んでいただきたい。

たばこ税等に係る自主財源確保を！

伊佐 光雄 議員

◎議員 有限会社クラヨシと平成十三年に協定書が締結されていますが、本社移転登記はいつ完了したのですか。

◎市民経済部長 平成十七年九月十五日に本社移転登記を完了しています。

◎議員 この建物は一階を居酒屋、二階をそば屋に賃貸していますが、売買契約書の九条に締結した協定書に基づき用途以外に使用してはならないと明記しています。移転登記も平成十七年で違反です。このまま放置するのですか。

◎市長 たばこ会社として誘致したので、後ろのバックヤード部分で本社を誘致することに専念してききましたが、これからも再度督促していきたい。不十分な面はございましたが、御指摘はしっかり受けとめて取り組み、土地開発公社とクラヨシとの間の売買契約に基づき対応が可能かどうかも検討してまいりたい。

◎議員 これは行政の大きな失態で、目的はたばこ税の収入なのです。十分認識を改めていただきたいと思います。



目的外使用と指摘されている宇地泊の物件



早めの整備が望まれる愛善保育園への進入路

愛善保育園への進入路の整備について

佐喜真 進 議員

◎議員 当該道路の危険性について、どう把握しているか。

◎建設部長 アスファルト舗装もされていないでこぼこ道の、未舗装道路であることは認識しています。最近是一部砂利で補修され、ある程度は改善されている状況です。

◎議員 砂利舗装による対応は、心急いで、すぐもとに戻るとの指摘や、また、保護者からは、通るたびに園児が転倒する大変危険な道との苦情もあります。市の単費等で当該道路を買い取るなど、今後の対応について伺いたい。

◎建設部長 用地取得に関しては、新たな市道認定となり、土地所有者等から寄附や権利譲渡が必要となるので、難しい状況です。また、私道であることから、地権者の同意なしでは舗装もできないので、今後、自治会等の要請及び地権者の承諾を得られれば、アスファルト舗装等について検討してまいりたい。

◎議員 ぜひ自治会との連携を進め、より良い解決法を導き出せるよう強く要請したい。

認可外保育園への助成拡充について

伊波 一男 議員

◎議員 認可保育園と認可外保育園の補助金の格差は、どのようになっているのか。

◎福祉保健部長 認可保育園は、一人当たり七〇歳児で年額約百八十四万円、一歳児で約百一十万円等、年齢別に補助が異なるのに対して認可外保育園は一部補助のため、年額一万九千七百円で格差が大きいのが現状であります。

◎議員 格差を埋めるためにも、新たな補助が必要だと考えますがいかがですか。

◎福祉保健部長 本市は、認可外保育園に対し、教材費や牛乳代等、単独の補助を実施している。新たな補助としては、お遊戯会等の行事への助成を、今後検討していきたい。

◎議員 助成事業があるにもかかわらず、未利用の認可外保育園もあるので、しっかりと補助を受けられるようにしていただきたい。

◎福祉保健部長 直接電話をし、補助を受けるように促してはおります。

◎議員 ぜひ、粘り強く頑張ってください。

自治会育成について

知念 吉男 議員

◎議員 近年、自治会加入率が減少傾向にあることは、大変憂慮されるものであります。行政はどのような支援をされてこられたのか。

◎市民経済部長 加入促進に向けて、転入者に対する申込書の配布、あるいは市報やホームページでの広報や啓発等々実施しましたが、現実には加入の大幅増にはつながっていません。引き続き自治会とともに取り組んでまいりたい。

◎議員 加入促進への支援を強めていただきたいと思います。

◎議員 自治会育成補助金の目的についてお答えください。

◎市民経済部長 円滑な市政運営及び市民福祉の向上に寄与することが目的で、自治会は市民の意思や要望を市政へ届ける、重要な役割を担っており、重要な役割を担っており、今後その目的に沿うよう支援してまいりたい。

◎議員 最近、一団体の配布物等を各自治会の判断で配布されたようですが、今後同じようなことが他の団体からもないか懸念され、検討されるべきであると提言します。

基地被害と民生安定助成事業について

谷畑 誠 議員

◎議員 基地から派生する騒音被害について、市で測定しているデータや市民からの苦情があればお答えください。

◎基地政策部長 平成二十年度測定結果から上大謝名では、うるささ指数が平均八十三W値、最大ピークデシベル百二十・七を記録し、これは電車が通るガード下で百デシベルであり、受忍限度を超えた騒音にさらされている状況であります。また市民からは、赤ちゃんが飛び起きて泣くという苦情等が寄せられています。

◎議員 このような市民の生命等に対する被害、うるささ指数の最も高い基地南側地域への補助事業の対応についてお答えください。

◎市長 民生安定施設助成事業を活用し、上大謝名自治会から要請のあった、学習等供用施設も平成二十五年に実施設計、二十六年に本工事、二十七年四月には利用できるように取り組んでおります。

◎議員 市民のため、これからも積極的にこの助成事業を取り入れるようお願いいたします。



民生安定施設助成事業で建てかえ予定の上大謝名自治会公民館



米軍基地普天間飛行場から飛び立つ米軍機

防音工事の区域と飛行ルートについて 呉屋 等 議員

◎議員 現在の防音工事の地域は二十七年前に指定されておりませんが、その当時と現在の飛行状況の変化についてどのように把握されていますか。

◎基地政策部長 当時の調査では、年間飛行回数一万五千七百二十六回、最高百九デシベル、飛行コースが本市東側だけだったのが、二〇〇八年では、飛行回数が二万回を超え、コースも西側が入るようになっております。これらの状況から、被害は増加しているものと考えっております。

◎議員 厚木飛行場も同じように騒音増加のため、地域指定の見直しを要求したところ、国の調査により見直しが決定され、八十世帯の防音工事が四万七千世帯まで拡大した事例があります。これはぜひ本市でも、将来的には市内全域ができるよう当然の権利として要求すべきと思いますが。

◎市長 これまで政府は、返還されるので再度の告示はしないという姿勢でした。しかし引き続き、危険性除去も含めて要請してまいります。



大山小学校分離新設校の建設予定地である大山田いも畑の一面

大山小学校の分離新設校建設について 呉屋 勉 議員

◎議員 大山小学校分離新設のための用地確保に向けて、地権者の同意状況はどうなっておりますか。

◎教育部長 残り二名の地権者の同意が得られておりませんが、その後、市長みずから地権者と面談し、説明した結果、お二人の同意を得ることができました。現時点では全員の同意を得ております。

◎議員 この件について、本人から誤解もあったと聞いていますが、市長の見解をお聞かせください。

◎市長 区内に二つの小学校があることへの抵抗感が皆さんにあり、考え方の行き違いがあつたことも謝りつつ、現状の課題解決のための説明をし、将来改築等で学校再編が行われる際には、そういったこともしっかりと受け止め、取り組んでいきたいということと御理解をいただきました。

◎議員 今後のスケジュールはどうなりますか。

◎教育部長 八月は試掘調査、九月頃には用地交渉、物件交渉を予定しております。

国道三百二十号拡幅工事について 又吉 清義 議員

◎議員 国道三百二十号拡幅工事の進捗状況はどのように把握していますか。

◎建設部長 用地買収及び物件補償については、地権者及び借家人の契約件数を二十五件まで終了し、物件補償は三件の契約が終わっているところであります。また、工事については、平成二十四年度に完了する予定で進めていると確認しております。

◎議員 校区再編に伴って、我如古区内進入路を利用する児童生徒がかなりふえておられます。

◎議員 ぜひとも安全な通学路を確保するためにも、機会を逃さないよう取り組んでいただきたい。

◎建設部長 国道の拡幅工事と合わせて、平成二十三年度から設計等を行っていきたいと考えており、今年度の実設計画の中で採択できるよう取り組んでまいります。

◎議員 朝夕も迂回路としての交通量がふえ、渋滞しています。早い時期に当該進入路を整備してもらいたい、いかがお考えか。



拡幅工事が計画されている国道 330 号 (我如古交差点より)



有効活用が期待される仮設避難港

**仮設避難港と海釣り公園構想について** 比嘉 憲康 議員

◎議員 仮設避難港周辺整備基本方針・基本計画ができて四年が経過し、進捗状況も進んでいないということであり、今後この計画をどのように生かしていく予定なのか、伺いたい。

◎企画部長 全体的な仮設避難港の整備等については、現在、難しいものがありますが、イベント等への駐車場として使わせてもらえないか、今後県とも調整を進めて、有効的な活用を検討してまいりたい。

◎議員 護岸整備も含めて海釣り公園を整備することは、経済波及効果が見込めると思いますが、所見を伺いたい。

◎市長 市としては基盤整備計画を策定しながら、国の理解を得て実現してまいりたいと考えており、海釣り公園については、基本的な環境が整った時点で、ニーズあるいは計画の整合性があるかどうかを検討させていただきたい。

◎議員 県外の先進事例の研究もしながら、仮設避難港周辺整備計画をぜひとも前向きに進めてもらいたい。

**建設工事等の入札について** 桃原 功 議員

◎議員 市内三団体からの要請について、今年度の入札にどのように反映されているか。

◎総務部長 本市の基本方針として市内業者優先ではあります。入札の競争性を確保しなければならぬため、ある程度の準市内業者及び市外業者の指名を勘案しております。なお、今年度はこれまで全件数が市内業者のみの指名であります。

◎議員 同時期に複数物件がある場合、第一落札業者が以降の重複工区を辞退させるよう

うな方法はできないとの回答であり、公募型のシステムを検討するなど柔軟性を持って取り組んでほしいと思えますが、いかがお考えか。

◎総務部長 公募型で条件等を付して行う手法については、今後の検討課題とさせていただきます。

◎議員 競争性もきちんと守りながら、業者の育成を行い、時代に対応していくことが行政の務めだと思えます。本市の現状をしっかりと認識し、もう少し柔軟に対応してほしい。

**地域福祉計画の地域づくりについて** 新垣 善正 議員

◎議員 地域福祉計画基礎調査報告書の中で、社会福祉協議会の認知度が低く、事業を委託推進していく上で壁になりつつあると思えますが、どのように認識していますか。

◎福祉保健部長 社協の認知度が低いことについては、非常に懸念しており、今後は市報にも社協の地域福祉推進事業の活動について、できるだけ恒常的に掲載していきたいと考えております。

◎議員 第二次の地域福祉計画を策定する上で、自治会が

担う役割は大きいと思えますが、自治会に対しての対策等も検討しているのか伺いたい。

◎市民経済部長 計画を実効あるものにするために、自治会の力が重要であることを計画の中で位置づけており、自治会加入率の向上に取り組んでいるところであります。

◎議員 自治会や各種団体等をいかに育成していくかが次期福祉計画でかなり重要なポイントシナルと考え、地域のつなぐりを大事にして、地域福祉を充実させていただきたい。

**「議案第41号 行政財産無償貸付について」に対する附帯決議**

地方公共団体において、第3セクター方式や公設民営による公共事業は、地方自治体の財政を圧迫し、行政運営を行う上で、全国的に大きな課題となっている。

本件については、平成18年の地方自治法改正により、民間企業に対しても行政財産について、貸し付け内容、趣旨等を勘案して、無償又は減額貸し付けが可能となったことを受け、本市所有の土地に民間業者をして建物を建設させ、その建物を公益事業に活用する内容であり、一般財源からの初期投資やその後の財政支出を抑制することができるとともに、本市の農水産業の振興を図る上で、極めて有効な手段といえる。

該土地の利活用については、補助メニュー等もなく、これまで具体的に有効活用がなされないまま遊休地化しており、現状をそのまま放置することはできない。

行政財産を無償で貸し付けすることについては、公益、公共性を有する事業に限り認められるものであり、事業運営に当たって、本市の農水産業の振興、発展に寄与できるような拠点とするべく、安定した経営のため、市当局においては、貸借契約書にのっとり、管理助言を徹底していただきたい。

さらに、「(仮称)海と緑の駅」にかかわる沖電開発株式会社、浦添・宜野湾漁業協同組合、JAおきなわにおかれては、該土地が宜野湾市の大きな財産であることを十分認識し、事業運営の継続的な安定を図ることにより、ある一定程度余剰金の確保がなされた際は、事業収益の中から、何らかの形で市民へ還元できるよう、大きなイベントや寄贈等を行っていただくことを強く要望するものである。

以上、附帯決議を付す。

## 第354回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議 決 結 果
議案第 33 号	宜野湾市税条例に関する専決処分の承認について	承認(全会一致・退場3名)
議案第 37 号	平成 22 年度宜野湾市一般会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第 38 号	宜野湾市職員の育児休業等に関する条例及び宜野湾市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第 39 号	宜野湾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第 40 号	宜野湾市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第 41 号	行政財産無償貸付について	同意(全会一致)
議案第 42 号	教育委員会委員の任命について	同意(全会一致)
議案第 43 号	教育委員会委員の任命について	同意(全会一致)
議案第 44 号	宜野湾市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
諮問第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	答申可決(全会一致)
報告第 1 号	平成 21 年度宜野湾市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告第 2 号	平成 21 年度宜野湾市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告第 3 号	平成 21 年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告第 4 号	平成 21 年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告第 5 号	平成 22 年度宜野湾市土地開発公社事業計画、予算及び資金計画について	報 告
報告第 6 号	平成 21 年度株式会社ティ・エム・オ普天間事業報告及び決算報告について	報 告
報告第 7 号	平成 22 年度株式会社ティ・エム・オ普天間事業計画及び収支予算について	報 告
報告第 8 号	交通事故による和解等に関する専決処分の報告について	報 告
陳情第 49 号	「30 人以下学級完全実現」のための陳情	採択(全会一致)
陳情第 50 号	義務教育国庫負担堅持及び2分の1復元を求める陳情	採択(全会一致)
陳情第 58 号	所得税法第 56 条の廃止を求める陳情	採択(全会一致)
	選挙管理委員会委員の選挙について	選 挙
	選挙管理委員会委員補充員の選挙について	選 挙
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第 37 号 地方税法第 37 条の 2 及び第 314 条の 7 に基づく条例改正について。 陳情第 53 号 在沖米軍人の基地内居住義務化と基地内住宅の建設計画の中止を求める要請。 陳情第 55 号 核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書及び決議の採択について。	承認(総務常任委員会) (全会一致)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第 46 号 区画整理事業地に係る保留地処分促進について。	承認(建設常任委員会) (全会一致)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第 30 号 バイオ燃料使用に係る要請。 陳情第 45 号 第 39 回沖縄県母子寡婦福祉大会の決議の実現について。 陳情第 56 号 改正国籍法に関する陳情。 陳情第 57 号 「保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書」の採択を求める陳情。	承認(経済民生教育常任委員会) (全会一致)

## 第355回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議 決 結 果
議案第 45 号	平成 22 年度宜野湾市一般会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第 46 号	平成 22 年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第 47 号	大山7号橋梁上部工工事請負契約について	同意(全会一致)



8/20 通称「真栄原新町」の環境浄化を目指す総決起大会パレード。



8/11 女団協より男女共同参画支援センター整備など3件の陳情。



7/12 市商工会より地域活性化のため地元産品の優先活用の要請。